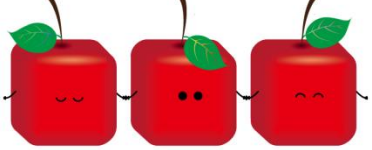


Academic Link
Chiba University | Academic Link Center

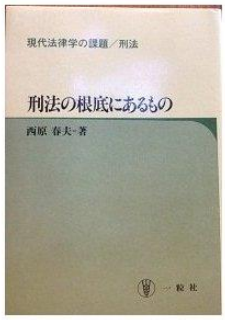
1210あかりんアワー　教員が研究の楽しさを語る
第14回（7/24）　石井徹哉先生推薦　ブックガイド

※掲載されている本はN棟3階ブックツリーのテーマ展示コーナーに配架されます。

Book1

刑法の根底にあるもの

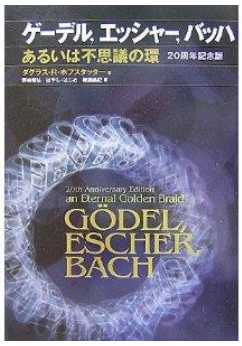
著者：西原春夫　出版社：成文堂
コメント：刑法学会の重鎮の手による国家刑罰権の基礎づけに関するもの。近代国家における国家刑罰権の根拠をめぐる議論を多様な視点から検討をする。



Book2

ゲーデル、エッシャー、バッハ ― あるいは不思議の環

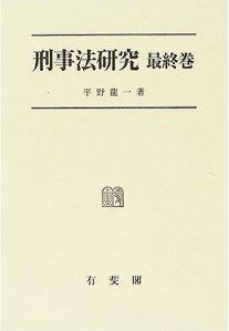
著者：ダグラス・ホフスタッター　出版社：白揚社
コメント：自己言及ないし自己参照を中心として，ゲーデルの不完全性定理，チューリングテスト，人工知能などを渾然一体として扱う。



Book3

刑事法研究（全6巻）

著者：平野龍一　出版社：有斐閣
コメント：現在の刑事法学のエポックメイキングをつくった刑事法研究者の著作集。現在の刑事法上の議論の手がかりがすべてあるといっても過言ではない。現在の裁判員制度に相当する制度を理論的にすでに基礎づけている論文も収録されている。
※2-6巻は本館K棟3階A||326/H66にあります。



Book4

法学の基礎

著者：團藤重光　出版社：有斐閣
コメント：先月逝去された戦後刑法学の礎を築いた研究者の手による法哲学的考察の著作。もともとは『法学入門』という書名で出版されていたが，その書名・現在の書名に反して，きわめて重厚な哲学的考察が展開されている。刑法学者が哲学的な考察を離れては研究しえないことを示すものともいえる。